

桂川っ子



「ブックスタート」発足 ——読書のすすめ——

桂川町教育委員会
教育長 佐谷千香子

今年8月から、町立図書館新規事業「ブックスタート」（4か月の乳児と母親が対象・ひまわりの里で実施）が始まります。乳児健診終了後、母子が絵本を通して、ふれあいのひと時を持ってもらおうとするもので、図書ボランティアが本の読み聞かせの手伝いをします。膝に抱っこされた赤ちゃんは、肌のぬくもりを感じながら、優しい声に耳を傾け、幸せなひと時を過ごすことでしよう。そしてブックスタートを契機に、家庭で本を介した母子のふれあいの場が広がることを願っています。

きつと、この赤ちゃん達は、やさしいお母さんの声と、あふれる愛情で、豊かな心の持ち主に成長するこ



学校の“今”を発信！ 連載「教育情報 桂川っ子」
問合先 桂川町教育委員会 ☎65・1149



そこで、私は提案します。小学生にも夕食後、少しの時間でもいい。お家の人と子どもとの読書タイムを持つて欲しいと。童話作家・椋鳩十氏は、鹿児島県立図書館長時代に「夕食後の十五分親子読書のすすめ」を提唱されました。

本町でも両小学校のボランティアによる読み聞かせや、小・中学校での「朝の読書タイム」が設定され、大変落ち着いた朝のひと時が保たれ、静かで穏やかな学校生活がスタートします。

「良書は心の糧」と、古くから言われているように、読書には数限りない長所があります。

本は学校図書館や町立図書館にあります。また、大人が子ども時代に感動した本を薦めてください。

「親子読書。いかがでしょうか。」

「豊かな心と確かな学力の育成をめざして」

桂川中学校校長 山本和生

平成二十年度も、一学期が終わろうとしています。地域や保護者の多くのみなさまの中学校への期待を受けながら、「学校は学ぶところ」を基本に、学校づくりを行っています。そして、生徒には学校生活の中で、多くのことを学んでほしいと願っています。

さて、振り返れば体育会も5月に終わり、6月は生徒総会と、学校における行事も進んでいます。本年度の中学校の重点目標は、「学校の教育力の向上」と「社会で通用する学力の育成」です。その中でも特に、学校における道徳教育や、行事などの体験活動を通して「豊かな心を育む」とともに、わかる授業による「確かな学力の育成」をめざしています。

数年前から始めた「職場体験学習」では、望ましい勤労観や職業観を身につけさせ、社会人として自立している豊かな心を育むことを目的としています。社会人として自立するためには、「ルールやマナーを守る。相手の立場に立って考える。あいさつができる。」などが重要であり、そ

のため本校では「規範意識の醸成」と「基本的生活習慣の確立」にも、PTAとともに取り組んでいます。

子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化している今日、教育として大切にしなければならぬ変わらぬものがあります。また、大人（親）としても同じです。愛情を持って、しっかりとした教育、子育てを行うとともに、学校では「社会で認められないことは学校でも認められない」と毅然とした指導をもとに、厳しさを持って、子どもたちの社会的自立を育んでいきます。ご理解・ご協力をお願いします。



▲ 5月25日桂川中学校体育会（組体操）